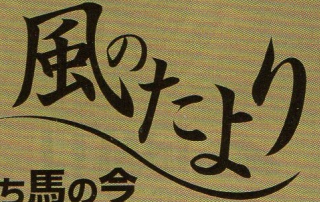


# 秋田富士をバックに余生を送る“看板馬”



## 京都金杯勝ち馬 タマモサポート

父タマモクロス、母アンサーミー、騾17歳  
主な勝ち鞍…京都金杯、ラジオNIKKEI賞

## 重賞勝ち馬の今

### 21年の時をへて父子制覇

#### 第47回京都金杯

7番人気のタマモサポートが3番手集団から抜け出し、最後は2馬身差をつけて完勝。前走のキャピタルSに続く連勝で重賞2勝目を飾った。父タマモクロスは1988年の金杯・西の勝ち馬で、21年の時をへて父子制覇も達成。手綱を取った津村明秀騎手はこの日、1月5日が23歳のバースデー。誕生日に見事重賞Vを決めた



◇2009年1月5日・第47回京都金杯 (GIII) (4歳上オープン) ハンデ 京都・芝1600m (良)

1	④	タマモサポート	牡	6	57	津村明	1.32.9	482+	4	34.5	7	13.8	藤岡健	
2	②	マルカシエック	牡	6	57	福永祐	1.33.2	2	504+	6	34.1	3	6.6	河内洋
3	③	フリダット	牡	4	56	四位洋	1.33.3	1/2	478+	4	33.8	2	6.0	松元茂
4	①	アドマイヤオーラ	牡	5	58	安藤勝	1.33.4	1/4	460+	10	34.6	1	3.6	松田博
5	⑦	バトルバニヤン	牡	5	56	幸英	1.33.5	3/4	488-	4	34.7	6	9.7	池江郁

単⑤1380円 複⑧390円 ②250円 ⑤210円 馬連②-⑧4090円 ⑬馬単⑧-②10130円 ④  
3連複②⑤⑧5940円 ⑭3連単⑧②⑤43690円 ①④  
ワイド②-⑧1310円 ⑬⑤-⑧1340円 ⑦②-⑤690円 ③  
3連複②⑤⑧5940円 ⑭3連単⑧②⑤43690円 ①④  
ワイド②-⑧1310円 ⑬⑤-⑧1340円 ⑦②-⑤690円 ③  
決め手一好抜出 前半4少=46.3(M) 上がり=46.6-35.0  
ラップ=12.6-10.7-11.2-11.8-11.6-11.9-11.4-11.7  
三 角④⑥-⑧⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺  
四 角④⑥⑧⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

### 引退から9年 “闘志” は健在

「白い稲妻」タマモクロスが晩年に送り出した産駒で、2006年のラジオNIKKEI賞、09年の京都金杯と重賞2勝を挙げたタマモサポート。現在は秋田県の由利本荘市にあるゆり高原ホースパークで「引退名馬繋養展示事業」の助成を受ける引退名馬として静かに余生を送っている。

ゆり高原ホースパークは03年に設立された観光牧場を兼ねた会員制乗馬クラブ。代表を務める佐藤哲さんは、35年前に日高町の育成牧場でホ



ースマンとしてのキャリアをスタートさせた。「もともと北海道が好きで、住み込みで働ける条件の職場として競走馬の牧場を選んだのですが、すっかり馬の魅力に取りつかれてしまいました」と佐藤さん。いくつかの育成牧場に勤務した後は、ホースセラピーの研修を受けたり、カナリーのインストラクターをしたり、林業に就いたりし、一時はサラリーマンも経験したという。「将来、北海道で乗馬クラブを立ち上げることを目標にいろいろな職場で学んできましたが、父親の出身地である由利本荘市に引越すことになりました。乗馬クラブ設立の夢も尽きたと思っていたのですが、この土地でもできるのではと考え、ゆり高原ふれあい農場の敷地の一部を借りて、03年にゆり高原ホースパークを開場しました」。

10年5月、佐藤さんは引退したばかりのタマモサポートが長野県にあるスエトシ牧場の売り馬に出ていることを知った。「クラブの看板馬としてネームバリューのある引退馬を探していたところでした。重賞勝ち馬が売りに出るのははめつたにないことだし、タマモクロスの子供でファンが多い馬ということも知っていたので譲っていただくことにしました」。

**ゆり高原ホースパーク**  
秋田県由利本荘市黒沢字東由利原4-1  
見学可(直接訪問可能)  
見学時間：9時～18時(冬期は9時～16時)  
※積雪により冬期通行止めになる道路もあるので事前にご確認ください。カーナビでは施設入り口を正確に表示しない場合があるのでご注意ください

10年7月に新たに仲間入りしたタマモサポートだが、その気性には大いに悩まされたという。「去勢も済ませていたのですが、目つきがギラギラして人も馬も寄せ付けない雰囲気。『そのままの競走馬が来ちゃった』という感じでした」と佐藤さん。「うちの馬は集団放牧で共同生活を送っています。通常、新しく入った馬は、元からいる馬たちに囲まれて序列の下に加わるのですが、タマモサポートの場合は到着後数時間で群れのボスになっていました」。それから9年がたち、気性はすっかり落ち着いているように見えるが、秘めた「闘志」は衰えていないと感じるといいます。「お客さんが餌やり体験をするときは、必ず私が立ち会って注意しています」と気苦労もあるようだ。

「人に過剰に干渉してほしくないタマモサポートには、この環境が合っていると思います。以前、アツバレアツバレ(02年の名古屋グランプリ優勝馬)を引退名馬として繋養していましたが、人に依存するタイプのアツバレアツバレはこの生活になじめなかった様子でした。この環境で、シンザンを超えるくらい長生きしてほしいですね」と佐藤さん。自由気ままに暮らす荒くれ者を優しく見守っている。

ゆり高原ホースパークは周辺を山に囲まれ、春は桜並木、夏には新緑、秋は紅葉、そして冬は雪景色と四季折々のロケーションで乗馬を楽しむことができる。日本の百名山にも選ばれた、秋田富士(標高2236m)をバックに楽しむ外乗ホーストレッキングは「SNS映え」すること間違いなしだ。